

○生涯学び未来を育てるまちづくり

・未来をつくる教育の推進

教育大綱における基本目標も踏まえて事業を展開する。

タブレット端末をはじめとするデジタル機器を活用する授業を定着させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の双方の充実による学力の向上を目指す。

英語学習では、学習理解を深めることや英語に親しむきっかけづくりにつながるよう、民間事業者のノウハウも取り入れながら生の英語に触れる機会を拡充する。

不登校対策として、中学校1校に新たに不登校児童生徒の居場所となる「校内教育支援センター」を設置し、支援の充実を図る。

発達特性や医療的ケアなど、支援を必要とする子ども達へは、一人ひとりの状況に応じて最適な支援ができる体制を充実する。

学校給食では、食材の購入価格の高騰が続いているが、この増額分は町が負担することとし、保護者の負担の緩和を図る。

施設整備では、学校施設長寿命化計画に基づき、大栄小学校で大規模改造工事を実施する。

地域を支える人材の育成では、家庭や地域の教育力の向上に向け「家庭教育12か条」や「あいさつ運動」を推進するとともに、地域学校協働活動の充実を図る。

・子育て支援の充実

妊娠期や出産期における面談を充実させ、必要な支援サービスへ確実につなげていくとともに、子育て支援センターの利用を進め、妊産婦が子育ての中で孤立しないような環境づくりを進める。

出産時のほくほくカードポイントの給付や、小中学校の入学時の祝金給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。

・子育てと仕事の両立支援

こども園では、発達段階に応じたきめ細やかで連続する保育・教育の推進に取り組みとともに、適切な修繕工事などを行いながら保育施設としての良好な環境の維持に努める。

こども園の業務改善を進め、保育の質の向上を進めるとともに、延長保育、病児・病後児保育、休日保育、放課後児童クラブなどの保育サービスを適切に実施する。

・文化・芸術の振興

「文化の薫るまち北栄町」として、北栄町美術展をはじめ北栄文化回廊や公民館まつりなどを開催する。北栄町美術展が20回目となることを記念して、北栄みらい伝承館で企画展を開催する。

・生涯学習活動の推進

中央公民館において、仲間づくりや生きがいつくりなどの講座を開催し、町民の教養の向上を図る。また出前講座についても、ニーズに沿った講座となるよう充実に努める。

中央公民館大栄分館の建替えは、ほくえい未来ラボでの提案を取り入れながら、新たな学びと交流、防災の拠点として基本設計等に着手する。

図書館では、「地域とつながる図書館」、「居心地のよい図書館」を念頭に置き、町民主体のプロジェクトも継続し、魅力化を図る。

・スポーツの振興

令和6年度は鳥取県が全国健康福祉祭「ねんりんピック」の会場となり、北栄町では、ソフトテニス交流大会を開催する。例年開催するすいか・ながいも健康マラソン大会とともに、全国各地からの参加者に喜んでいただける大会となるよう努める。

北栄スポーツクラブやスポーツ推進委員が取り組んでいる様々な事業を後押しすることにより、町民の健康寿命延伸につながる活動を推進する。

・鳥取中央育英高校魅力化事業

高校の存続に向け、高校、県教委、地域と連携し高校の魅力化を進める。高校魅力化専門員を配置し、地域との連携や中学生との交流を進め、将来の進路に接続できるような学びと探究の充実を図る。